

2024年10月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 10月えんだより

10月の聖句「ひとりよりもふたりが良い。」

コヘレトの言葉4章9節

昨年に引き続き、この夏も「異常で圧倒的な暑さ」となっていました。例年、お彼岸の時期になると田んぼのあぜ道などで多く見られる真っ赤な彼岸花を見かけることも、今年は少ないように思いますが、朝夕は少ししのぎやすくなってきたように感じます。子どもたちと共に外遊びを存分に楽しめる季節を迎え、彼岸花が真っ赤に咲き誇るのを待ちたいと思います。

休みの日に、バイクで出かけることを楽しむことができます。コロナ禍の影響もあって(?)「リターンライダー」(若いころバイクに乗っていたが、諸々の理由でバイクに乗らなくなったが、再びバイクに乗るようになったライダー)が増えているそうですが、私もその一人のようです。ある時、福知山城を見ようと思い立ち、出かけました。自宅から福知山城まで、片道約90km。一般道で約2時間強の行程でした。その間、一言も声を出すことはありませんでした。現地に着き、お城を見て回っている時も同様に一言も声を出すことはありません。そして帰り道。途中でガソリンスタンドに寄ったのですがセルフスタンド。結局、全行程、一言も話す機会はありませんでした。バイクで走ること自体は楽しいのですが・・・。

世間では「おひとり様」が人気ということを目にしたことがあります。バイクでは「ソロツーリング」。キャンプでは「ソロキャンプ」。そして「ひとり焼肉」等々。一昔前は「おひとり様」というと、ちょっと寂しいイメージでしたが、今は違うようです。「ソロ」や「おひとり様」を楽しむ理由として、「他人とつながることにわずらわしさを感じるようになったから」というものがあります。また、「一人でいてもSNSによって友だちやグループと『コミュニケーション』が取れるから」というものも。いずれの理由も「一人が好き！」というものとは少し違うように感じます。前者は「他者とつながることのわずらわしさからの避難」であり、後者は「間接的(SNS)な他者とのつながりは確保」といったものです。人間というものは、純粋に「一人が好き！」と思える生き物なのかと考えさせられます。

神様は、天地創造の後に「人」を創られました。最初に『アダム』を創られ、その後に「人が一人でいるのはよくない。」と『エバ』を創られました。この時の神様のご意思からすると私たち人間は純粋に「一人が好き！」と思える生き物として創られていないのかもしれませんが。

様々な社会の変化の中で、「他者とのつながるわずらわしさからの避難」や「間接的(SNS)な他者とのつながりは確保」といった「一人が好き！」ではなく、神様が創ってくださった尊い「自分が好き！」そして、同じように神様が創ってくださった尊い存在の「他者が好き！」と思える人々のつながりを創っていくことを願いつつ、新しい月も歩みを続けていきたいと思っています。

10月	乳児(0,1,2歳児)	幼児(3,4,5歳児)
月主題	やってみよう	心はずませて・共感する
月の願い	・保育者や友だちと一緒に祈り、賛美することを楽しむ。 ・好きなことや興味のあることに取り組む中で、繋がりを感じる。 ・戸外で体を動かしながら、あそびを広げていく。	・いつも神様に守られ、力をもらっていると感じる。 ・友だち同士考えを出し合ってあそぶ中、明日もやりたいという気持ちをもつ。 ・心地よい秋の自然の中、季節の変化を感じていく。
讃美歌	「 どんどこどんどこ 」 こども改106	「 わかちあおう 」 こどもと歌うさんびか

